

SYDかわらばん

＜最新活動情報 No.173＞ 2023 年 4 月 21 日号

公益財団法人修養団「令和5年度事業計画基本方針」
「総幸福の世界を願って」
積極・前向きに進めよう“幸せの種まき運動！”



明治39年2月11日東京府師範学校において蓮沼門三を中心とした学生たちによって旗揚げされた修養団は、令和5年2月11日に創立117周年を迎えました。この間、修養団は変わることなく、すべての人が愛と汗を实践して「総親和・総努力・総幸福」の明るい世界を実現させることを願って会員と共に力を合わせ“愛汗運動”そして“幸せの種まき運動”を展開して参りました。

令和2年にはコロナウイルス感染が世界中に流行し、日本でも感染拡大により社会的に大きな影響が及びました。修養団においても令和2年、3年には多くの事業を中止せざるを得ない状況になりましたが、昨年度においてはコロナの感染が続く中でも感染対策を図りながら積極的に活動を展開してまいりました。

令和5年度もコロナ感染状況は予測が付きませんが、ウィズコロナの時代に対応しZoomなど IT 技術を活用しつつ、引き続き青少年健全育成事業、講習・講演活動、クラブ・連合会活動の充実と参加者拡大のため積極的に活動の伸展を図ってまいります。修養団が創立以来掲げてきた「総幸福の世界」の実現という願いは、国際的に推進されている持続可能でより良い世界を目指すSDGs運動の理念と一致するものです。3年後に迎える創立120周年を機にさらなる運動の拡大を図るため、創立の原点を見据え、SDGsの運動とも歩調を合わせ、全国の会員およびクラブ・連合会と連携・協力し、共に知恵を出し合い「愛と汗」を基本とした“幸せの種まき運動”を力強く推進し、一人でも多くの人が一粒でも多くの「こんにちは！」という“ふれあいの種”、「どうぞ！」という“思いやりの種”、「ありがとう！」という“よろこびの種”をまき、一輪でも多くの笑顔の花を咲かせることができるよう事業を展開してまいります。

SYD 活動と SDG s

SYD 活動のほとんどが SDG s の目標達成に通ずる

🌱 幸せの種まき献金/フィリピン支援・海外支援/震災ボランティア 🌱 自然体験キャンプ/家庭共育セミナー/各種講習会



十伊勢講習会

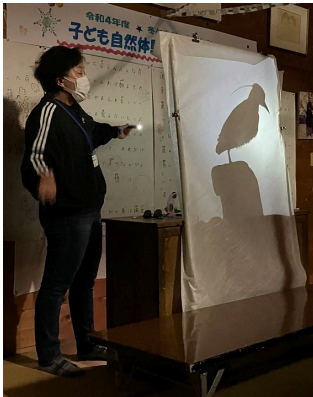
十沖縄遺骨収集

主催事業・活動等

《 》内は派遣者

報 告

3/26～30…第2回「子ども自然体験スキーキャンプ」※24～25 はリーダー研修会
29人〔福島県北塩原村・ばんだいふれあいびあ、猫魔スキー場〕《高橋源一郎、板倉和也、谷野渉、増田航介》

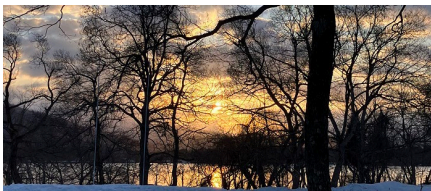


今年は初日が雨で室内での活動となった。夜のレク大会では、ジェスチャーゲームや絵しりとり、影絵クイズなどで盛り上がった。2日目以降は天気も良くなり、雪像づくりや雪上レクリエーションで雪を満喫できた。

雪像のテーマは「大きければ大きいほどすごい〇〇」で、かまくらや家などの大きな作品が出来上がった。レクリエーションは、雪玉入れや雪を積んで高さを競った。午後からは簡単工作として、くるくるレインボーや石鹸づくりをおこなった。ナイトハイクでは、お互いの作品を鑑賞しながら、そり遊び、手持ち花火、お汁粉を楽しんだ。リーダーによる見ごたえのあるファイヤーダンスも披露された。



スキーでは、初心者の方のスキー教室の参加者たちも2日間かけて滑れるようになり、春スキーをみんなでお楽しみすることができた。4日目の交歓のつどいでは、各村ごとによく工夫された劇が発表されて大いに盛り上がった。



3/31～4/4…「全国青年アカデミーキャンプin福島」

22人〔福島県北塩原村・ばんだいふれあいびあ、宮城県名取市・復興住宅集会所 ほか〕

《高橋源一郎、鈴木幸、奈良芳文（関上ボランティア）、震災遺構中浜小学校語り部ガイド、岩佐加寿子、山口千恵子、板倉和也、谷野渉、増田航介》



第2回	1日目 3月31日(金)	2日目 4月1日(土)	3日目 4月2日(日)	4日目 4月3日(月)	5日目 4月4日(火)
6:00	起床	起床・洗面・美化	起床・洗面・美化	起床・洗面・美化	起床・洗面・美化
7:00	朝食	朝食	朝食	朝食	朝食
8:00	14:00猪苗代駅	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動
9:00	会場	講話① 「愛と実践のSDGs」	講話② 「復興市」見学	インプット① 映像or講話	協議まとめ・発表 感想文記入
10:00	14:00猪苗代駅	野外炊事	関上(ゆりあげ)地区 復興住宅集会所で 現地の方と交流	協議	閉会
11:00	バス移動	野外炊事	野外炊事	野外炊事	野外炊事
12:00	12:00猪苗代駅	(昼食)	(昼食)	(昼食)	(12:15)猪苗代駅
13:00	14:00猪苗代駅	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動
14:00	閉会	「スキーの基本」	震災遺構 中浜小学校 (語り部ガイド)	自然散策	自然散策
15:00	アイスブレイキング	(クロスカントリー スキー)	見学	村別活動	村別活動
16:00	講話②SYDと ボランティア活動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動
17:00	入浴	入浴	入浴	入浴	入浴
18:00	(夕食)	(夕食)	(夕食)	(夕食)	(夕食)
19:00	インプット② 映像or講話	「東日本大震災から あれから12年」	講話③ 震災とともに生きる	キャンプファイヤー	キャンプファイヤー
20:00	協議②	協議③	協議④	個人発表	個人発表
21:00	懇親	懇親	懇親	懇親	懇親
22:00	就寝準備/就寝	就寝準備/就寝	就寝準備/就寝	就寝準備/就寝	就寝準備/就寝
宿泊	ばんだいふれあいびあ(室内泊)				

今回は「君たちはどう生きるか」というテーマについて、真剣に考えた5日間となった。

全国から集まった参加者たちは、講話や映像、また野外活動してクロスカントリースキーや野外炊事、キャンプファイヤーの体験、さらには、東日本大震災から12年たった宮城県名取市を訪れ、現地の皆さんとの交流を通して、たくさんの学びを得た。



ゆりあげ港復興朝市や震災遺構中浜小学校を見学し、現地の光景を見て「今まで遠くであった話のように思っていたが、身近に本当に起こったことだと実感できた。」など様々な感想があった。最後には「身近な周りの人の事をもっと知って大切にしたい」「めんどくさいと思っていたことにもちゃんと取り組みたい」など参加者の心の成長を感じた。



4/4～7…第1223回「みがく講習会」12人〔三重県伊勢市・伊勢青少年研修センター〕《武田数宏、寺岡賢、山崎政弘、斎田聖生、竹本英美、亀田希奈里》

今回は4月ということもあり、新入社員の方が中心に参加。社会人として初めの一步を修養団研修からスタート。

そのなかで緊張の中前向きに取り組む姿が多く見られた。また、ベテラン社員の方々も良い意味で研修を引っ張り、お互いが学びあい、活気に満ち溢れた会となった。少人数ならではのアットホームな感じで、4日間を過ごすことができた。



3/26…第6回「Zoomでオンライン“愛と汗”幸せの種まき講演会」いつも命に向き合って～祖父が照らしてくれた修養団への道～

《キャリアカウンセラー・牧野理香》

※都合により延期

予 定

4/23…「青少年活動(キャンプ)担当者会議」
〔オンライン(Zoomにて開催)〕

5/19…第6回「Zoomでオンライン“愛と汗”幸せの種まき講演会」
《板倉和也》

会員組織の主な動き

報 告

3/17…修養団山都愛汗の会「愛汗苑雪囲い外しと周辺整備」5人〔福島県喜多方市・愛汗苑〕
春の装いのなか、翌日から喜多方市山都町沼ノ平でおこなわれる日本最大級100

万株の“福寿草まつり”に合わせて、愛汗苑の雪囲いの取り外しと整備作業をおこなった。
《発信・小澤清一》



4/5…修養団美幌会「平成5年度修養団美幌会総会」16人〔北海道美幌町・町民会館会議室〕



4月5日「平成5年度修養団美幌会総会」が開催され、席上において修養団功労者表彰者3名の伝達式がおこなわれ、会員の皆さんに披露された。受賞者一同は、「会員あつてのこの受賞は身に余る光栄であり、今後とも“愛と汗”の活動に精進したい」と感謝の意を、更には決意の言葉を述べた。
《発信・田口義全司、八城君子》

受賞者

名誉団員	八城 君子氏
特別賞(蓮沼賞)	田口 義全司氏
個人表彰	中西 八重子氏

辞令(4月1日付)

林 春幸 総務部・講師研修生

<発行・連絡先>

SYD(公益財団法人修養団) 社会教育部
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷 4-25-2
☎03(3405)5441 FAX03(3405)5424
E-mail: info@syd.or.jp
ホームページ: <https://syd.or.jp/>

SYD 検索